

生成AIで商品説明文を量産する ECサイト・カタログの文章作業を効率化する 考え方

商品ごとに一から書く説明文の作業を、生成AIで効率化する方法を解説。

「型」を決めてAIに量産させ、人が最終確認する3ステップで、品質を落とさず作業時間を大幅に削減できます。

2026年8月1日 | 株式会社DnD (dnd-inc.jp)

この資料の要点

- 商品説明文の文章作業は、「商品ごとに一から書く」という非効率を繰り返しやすい構造になっている。
- 生成AIで「型」を決めて量産すれば、品質を保ちながら作業時間を大幅に削減できる。
- AIが書いた文章は「叩き台」として扱い、最終確認を人が担うことが品質維持の鍵。

商品説明文の作業は、なぜ重くなるのか

ECサイトや製品カタログを運営する中小企業では、商品説明文の作成がひとつの大きな工数源になっています。商品数が多い・更新が止まらない・担当者に集中するという3つの構造が重なり、

「新商品を追加したいが説明文が追いつかない」「古い文章が残り続ける」という状態が生まれます。

生成AIに何ができて、何ができないのか

生成AIは商品名・スペック・用途を入力すると説明文の叩き台を即座に生成できます。一方で、事実誤認（ハルシネーション）・競合差別化の判断・社内独自ルール of 自動適用は苦手です。

生成AIは「書く作業」を肩代わりするが、「何を書くべきか」の判断は人が担う。この役割分担を明確にすることが、量産の成功条件です。

品質を保ちながら量産するための3ステップ

ステップ1：「型」を決める

自社の商品説明文の構成（①キャッチコピー②特徴・メリット③スペック④ターゲット）を定義します。型を固めると、AIへの指示が安定し生成品質のばらつきが減ります。

ステップ2：プロンプト（AIへの指示）を固める

役割の定義・出力形式の指定・禁止表現などの制約・商品情報の渡し方を明示したプロンプトテンプレートを作成します。チームで共有すれば誰でも同水準の叩き台を生成できます。

ステップ3：確認・修正のルールを決める

①事実確認（スペック・価格など）②表記ルールの確認③ブランドトーンの確認の3点をチェックリスト化します。チェック項目を明文化しておくことで担当者が変わっても品質基準が維持されます。

スプレッドシートと組み合わせると、さらに効率化できる

商品情報をスプレッドシートで管理し、データをプロンプトに貼り付けるだけで量産できます。より高度な自動化としてワークフローツールやAPIとの連携も可能ですが、まずは手動のスタートを推奨します。

どんな業種・商品に向いているか

- 取り扱い商品数が多く、説明文の作成・更新に常に工数がかかっている。

- 仕様・特徴・用途が一定のフォーマットで説明できる商品（アパレル、日用品、食品、機器類など）。
- 複数チャンネルで商品紹介文を使い分ける必要がある企業。

ご相談・お見積りは無料

株式会社DnDでは、商品説明文の量産を含む業務の自動化・効率化についてご支援しています。

まずはお気軽にご相談ください。

<https://dnd-inc.jp/contact.html>